

## 「いいね！協同組合」 FMちゅーピーラジオ出演

### 広酪の事業活動、乳和食をPR

広島県協同組合連絡協議会(HJC)は、構成団体の取り組み事業を通じて「協同組合」に関する情報発信を目的に、平成二十九年七月から平成三十年三月まで、広島都市圏を放送エリアとする「FMちゅーピーラジオ」の「広島すまいるパフェ」(毎月第三木曜日、十二時から十四時半放送)番組内で提供するコーナー「いいね！協同組合」(十三時十五分から約十分間放送)に、

HJC構成団体が持ち回りで出演し、各団体で取り組む事業活動等の情報を発信している。

八月十七日の放送は広酪の河内山洋係長(総務管理課)がFMちゅーピースタジオへ出向いてラジオ生出演し、広酪の事業活動

の紹介、乳和食の推進を行った。

放送内容は、広酪が発足した平成六年から比べて、直近の平成二十八年度における生乳出荷組合員数や生乳生産量の動向を説明。総務省が示す広島県の牛乳年間消費量(一人あたり一ℓ牛乳二十七・五本)をもとに、平成二十八年度生乳生産量四万七千四百九十二トンを広島県の人口二百八十三万人で除した場合の県産生乳の県内消費量は一人あたり十六・八本となり、県内生産量だけでは消費に追いついていない実態に触れた。

乳和食の紹介では、基本となる「五つのミルクマジック」に触れて、そのうちの「ミルクつけつゆ」、「ミルク納豆」等、すぐに取り組める簡単レシピを紹介した。

この他、熱中症対策にやきついで運動後のコップ一杯の牛乳が効果的なことや、県産生乳百分の証「サンマーク表示」の紹介を行い、広くリスナーへ牛乳の愛飲と料理への活用について訴求した。



## WCS収穫に向けて 安全・効率的な作業確認九月十一日収穫開始

飼料用稲(WCS)の収穫作業を安全かつ効率的に行い、良質な飼料原料を確保するため、収穫作業に携わる乗務員を参集し、収穫機械の安全点検や運転技術の向上に向けた講習会を開催した。これには、委託業者の(株)東酪、(農)安瀬平グリーンファーム、(有)北広島町農林建公社、(農)上下南農産から作業員二十一名の他、講師・広酪職員を含め二十九名の参加があった。

「飼料イネ刈取り安全作業」を学んだ。

午後、WCS置き場の石富倉庫に会場を移し、実際に飼料用稲収穫機とラップマシンを前にして整備方法や安全運転

に対する知識を深めた。

参加者からは「収穫作業前に改めて講義を聴いて、安全運行に向けての勉強が出来て良かった」、「新しい操作方法を聞いて良かった」等の感想があった。



(石富倉庫での機械説明)

稲収穫機のとラックへの乗り降ろし時の注意点、農作業事故の状況と予防方法を、平島敬士氏(株)中国営業所副主任)からは



(広酪本所会議室で講義を受ける乗務員)